

第1・2回協議結果のまとめ

方針	
期待・アイデア	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・休日/平日で参加部活動を分ける ・特定種目にこだわらない活動の推進 ・国の予算が確保できないのであれば、市行政が県や国に働きかけて獲得をしていく必要がある ・まずは現行の部活動の移行を考えるべき ・「部活動」という名称を変える 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と保護者が抱く期待のずれの埋め方 (生徒：新しい種目・他校生徒との関わりあいへの期待高) (保護者：社会性を身に着けること、専門性への期待高) ・管理運営団体の担い手 ・全体（スポーツ・文化）コーディネーターの設置 (現状ない場合は立ち上げるのか、その時の費用)

現状の部活動	
期待・アイデア	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで交流を望んでいる声が多いことから文化部を含めた活発な交流を開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢が少ない ・文化部の学校間交流が少ない

団体（団体整備充実）	
期待・アイデア	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かす ・地域団体（少年団・サークル等）へ参加 ・市内のリソース活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年団からの継続性の少なさ ・地域団体の把握

指導者（指導者の質・量の確保）	
期待・アイデア	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携（大学生が指導をする） ・企業との連携 ・藤沢市民力の高さを活かした仕組づくり ・指導者の高齢化 ・教員の負担を地域にスライドさせない ・兼職兼業制度 (簡略化した手続きで行える工夫) (部活外顧問制の廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の高齢化 ・指導者に求める水準が不明確 ・ボランティア性の高い指導者の指導力担保が困難 ・兼職兼業制度/部活動と学校の切り離し (部活動に関わらない職員への負担増の可能性) (休日におきた課題が平日に持ちこまれること) ・地域団体の社会教育力

施設の確保	
期待・アイデア	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設利用 (近隣校でグループを組み特定学校にならない工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこまで外部の方を施設内に入れるのか ・事故があったときの責任の所在

大会運営（大会の在り方）	
期待・アイデア	課題
・地域主催の大会を開催	・地域の方々のかかわり方 (教員・地域が負担なく運営することが想像がしがたい)

費用面	
期待・アイデア	課題
・積極的に携わりたい人々へ金銭面サポートの必要性	・困窮家庭ではない家庭への補助

情報周知	
期待・アイデア	課題
・リーフレット作成配布	・当事者（生徒・保護者・団体等）の認知度の低さ ・周知不足 ・受け皿となる地域の方々への周知不足

質問
<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行の情報がいきわたってない状態でのアンケート実施をした意図は。 ・アンケートに新たな種目を入れた意図は。